

# 上板町 学校給食センター



ヒートポンプ 蓄熱式  
給湯 蒸気発生器

贈呈理由 > 蓄熱システムの導入により、環境負荷低減を実現



上板町給食センター 外観南西方向

上板町学校給食センターのある上板町は、徳島県の北東部、吉野川平野の中心部に位置し、北は讃岐山脈、南は清流吉野川に囲まれ、良質な水と温暖な気候風土に恵まれた自然豊かな町であり、恵まれた資源を活かし古くから「阿波藍」や「阿波和三盆糖」の生産が盛んな地域である。特に「阿波藍」については、「阿波藍製造技術」が国の選定保存技術として定められ、栽培・生産・加工から藍染までの全工程を、町内にある各作業所で管理・生産・加工・販売している全国唯一の藍の里でもある。

上板町では、隣接する市町村と共同で給食センターを運営していたが、施設の老朽化や、それともなう維持管理費の増加などの問題が顕著となったため、共同による給食センターを閉鎖することとし、町単独で新たな学校給食センターの建設を計画し、2015年12月竣工、2016年4月に開所した。

上板町学校給食センターは、町内5小中学校と4幼稚園に1日1,200食を提

供しており、厨房内はHACCPの概念に基づき、汚染・非汚染区域を明確に区分しドライシステムを採用することで、衛生的な厨房環境を実現し、また、食物アレルギーにも対応する特別調理室を設けて食の安全性にも配慮している。

給湯システムには、調理や食器洗浄などに大量のお湯を使用することから、省エネルギー性に優れ、一度に大量のお湯が使える蓄熱式業務用ヒートポンプ給湯機を採用し、ランニングコストの削減と環境負荷の低減に大きく寄与している。

また、煮物や炒め物など多様なメニューの調理ができる蒸気式回転釜には、蓄熱式蒸気発生器でつくった蒸気を供給しており、昼間の最大電力の抑制とともに電力負荷の平準化効果により、省エネ・省コストの給食づくりを実現している。

上板町学校給食センターは、保護者や地域の生産者の協力を得ながら地元で採れた食材を最大限に活用すると



貯湯槽

もに、「おいしく安全で安心な給食の提供」を目標として、子どもたちの食育を推進するための拠点として期待されている給食センターである。

## 上板町学校給食センター

所在地：徳島県板野郡上板町高瀬字宮ノ本250番地4

建築設計：(株)教育施設研究所

建築施工：(株)姫野組

延床面積：1,021.39㎡

竣工：2015年12月（新設）

### ■蓄熱設備概要

業務用ヒートポンプ給湯機 35kW×4台

[ダイキン工業(株)]

貯湯槽：30㎡

蓄熱式蒸気発生器 27kW×2台 [IHI検査計測]